

看護師による豆知識講座

～外来診察待ち時間有効活用のために～

昨年行った待ち時間調査における当院の待ち時間の平均は、予約時間から約30分から1時間でした。しかし、それ以上の待ち時間に感じたり、実際に待ち時間が長かったりする患者様も少なくありません。症状の個人差による時間のずれなどがあり、どうしても予約時間通りに進まないことが現状です。そこで、待ち時間を有効活用し、「今日の待ち時間は短く感じたなあ」と思っていただけのために「看護師による豆知識講座」を企画しました。以下に今年2月下旬より取り組んできたことや、これからの予定をご紹介します。

まず、日程については定期的に行うことが難しいため、独自のカレンダーを作成し不定期な予定表として作成してあります。時間は午前10時から11時の1時間程度で、場所は外来棟1階の待合いホールで行っております。月間予定表は、診療案内窓口に置いてありますのでご自由にお取り下さい。

次に、内容については、できるだけ参加される方が興味を引かれるようなテーマが望ましいこと、看護師ならではの指導内容であること、参加される方が気軽に質問できる時間を設けること、距離感が近い参加型の取り組みであることなどに心がけております。また、参加される方にテーマのご要望などを求めながら、講座内容を増やしております。

現在までに行った講座は「糖尿病」「禁煙」「メタボリック症候群」「高齢者の物忘れ」「動脈硬化」「応急手当AEDの使い方」「突然の頭痛」「乳癌検診」「失敗しない点眼の方法」など多彩であり、それぞれ「これって何?」「予防するためには?」「こうなったらどうする?」を中心に構成しております。

講座を実施する看護師は、慣れない講座であるため、多くの時間を費やして準備し、参加者の前では緊張感を味わいながらすすめています。それでも参加される方が喜んでくださることが、どんな労いの言葉よりも嬉しく感じ、逆にやりがいとして参加者の方からエネルギーを頂いています。患者さまと職員がお互いに好結果をもたらせています。

また、最近の企画の中には、外部からの協力をいただき、瀬戸消防署救急隊員による「応急手当」、瀬戸警察署による「振り込め詐欺防止」講座を実施し、病院を超えた連携を行うようにもなりました。これはいかにも地域密着型の象徴であり、今までにない斬新なイベントではないでしょうか。こうして、待ち時間短縮につながる工夫や対策も必要としながら別の角度から取り組み始めたこの企画が、参加される方にとって笑顔で満足いただけるように一生懸命努力していきたいと思います。また、今後は病院内の多職種の医療チームとも連携した内容へと発展し、持続性のある企画内容としていきたいと、思っております。

最後に、外来の待ち時間をちょっと拝借して・・・どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。

外来機能整備担当看護師長 松原夏代

No.65 2010.7.1 発行 編集：教育・広報活動委員会